

長崎国際大学 同窓会誌

2017.10
VOL.13

Nagasaki International University



【発行元】長崎国際大学同窓会

〒859-3298

長崎県佐世保市ハウステンボス町2825-7

長崎国際大学事務局

TEL.0956(39)2020 FAX.0956(39)3111

E-mail:dousou@niu.ac.jp



壁を乗り越えるために

同窓生の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。昨年発災した熊本地震の爪痕が未だ残され、仮設住宅等での避難生活を余儀なくされている方も多くいます。今年も福岡県や大分県を中心とした豪雨による甚大な被害が発生し、現在も復旧・復興に向けた取り組みが懸命になされています。改めて同窓会を代表し被害にあわれた皆様に心からお悔やみとお見舞いの気持ちを表すと共に、一日も早く日常生活を取り戻すことができるよう、同窓会としても災害支援のあり方について速やかに検討し方向性を示して参りたいと思います。

先日久しぶりに、家族とハウステンボスに遊びに出かけました。ハウステンボスは「もう一つのキャンパス」として学生時代に先生や友人と有意義な時間を過ごした大切な思い出の場となっているのではないのでしょうか。

かつてのハウステンボスは、いつでも、どのアトラクションでも待つことなく楽しむことができましたが、現在は多くのお客様で賑わっていました。

アムステルダムシティにあるメリーゴーランドに向かうと、30分待ちの行列ができていました。メリーゴーランドとVR(バーチャルリアリティ)を融合させた新しいアトラクションに生まれ変わっていたようです。

ハウステンボスは、1992年の開業以来赤字が続き2003年に経営破綻します。その後ファンド傘下で再建を模索するものの客足は伸びず、2010年にエイチ・アイ・エス(HIS)が経営を引き受け現在に至っています。

先日、HISの澤田社長の右腕としてハウステンボスの再建に挑んだ経営企画室長の高田さんとご一緒させていただく機会がありました。

高田さんは「ハウステンボスでのこだわりは“オンリーワン・ナンバーワン”。東京にも、大阪にも無い、ハウステンボスに来ないと体験できない、見ることができないといった価値観と規模感に拘ってイベントや事業を展開している。世界最大級のイルミネーション“光の王国”には全国から取材に来ていただける。世界初のロボットがオペレーションするホテル“変なホテル”にはアメリカや中国、ヨーロッパ、地球の裏側のブラジルからと世界中から取材に来ていただき広くご紹介をいただいた。」とハウステンボス復活の舞台裏を話してくださいました。

同窓生の皆さんも、それぞれの立場で様々な課題に挑戦される日々を過ごされていると思います。来月予定されている同窓会総会で母校を訪れる際には、ぜひハウステンボスにも足を延ばし、心身共にリフレッシュされ、今後の活力を養っていただければ幸いです。

結びに、今後ますますの母校の発展と、同窓生の皆様のご健勝を祈念し「同窓会誌VOL.13」の発行にあたってのご挨拶と致します。



長崎国際大学 悠和会
会長 橋之口裕太

あいさつ

悠和会の皆さんへ

夏の厳しい暑さが次第に遠退き、清々しい秋の日が訪れています。悠和会の皆様にはご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。昨年の熊本震災に引き続き、本年も自然の猛威に見舞われ、北部九州の豪雨により多くの方が被災されました。心ならずも被災された皆様に、慎んでお悔やみとお見舞いを申し上げます。

長崎国際大学では本年度550名もの新入生を迎え、大学院生を加えますと、大学全体で約2300名の学生数となりました。この秋には、新たに34名の留学生が加わり、総勢では約230名の留学生数となっています。18才人口が減少し、多くの大学で入学定員に満たない大学が増えているなかで、皆さんの母校が元気よい状態であることは、とてもありがたく、同窓生の皆さんに感謝すると共に、共に喜んでいただきたいと思えます。また、昨年は薬学部が創立10周年を迎え、盛大な式典が催されましたが、同時に薬学部同窓会も誕生しました。全学同窓会の下部組織として活動することになりました。どうぞよろしくお祈りいたします。

さて、本年度、高等教育の質の転換を図り、教育をより充実させるために新しく3つの方針を設定しました。卒業認定・学位授与の方針であるディプロマポリシー、教育課程編成・実施



長崎国際大学 学長
中島 憲一郎

の方針であるカリキュラムポリシー、入学者受け入れの方針であるアドミッションポリシーです。それぞれ学生が卒業までに身に付けるべき資質・能力、それを達成するための教育課程の編成・実施の在り方、これらの方針を踏まえての学生の受け入れ方、を示しています。大学としては同窓生をはじめ全てのステークホルダーの皆様にご褒めいただける教育を実践していく所存です。

一方、本学では学生支援にも力を入れています。その中の一つに何らかの障害を抱えて支援を必要とする学生さんに対するピアサポートの制度があります。キャンパスライフ・ヘルスサポートセンターでは、本年度も何らかの支援を必要とする学生さんの申請をしていただきましたが、現在、60名ほどの申し出がっております。様々な支援が必要ですが、ピアサポーターの募集を行ったところ、約40名の学生さんが登録してくれています。サポートを行っている姿を見ていますと、まさに胸が熱くなります。本当に真剣にサポートが行われているのです。サポートが必要な学生さんの喜びはもちろんですが、大学としてもとても有り難く頭が下がります。ピアサポーターの学生さんたち自身も、将来にとって必ずや良い経験になるものと信じています。さらに、ボランティア活動にもたくさんの方々に応募してもらっており、現在約80名の学生さんがボランティア人材バンクに登録しています。募金活動や被災地での支援活動など、心暖まる活動を行っていただいています。いずれも長崎国際大学の学生さんの心意気とパワーを感じずにはおれません。

同窓生の皆さん、後輩たちは皆先輩たちに負けぬように日々頑張っています。色々な場所や場面で後輩たちと巡り会うことがあると思いますが、ご支援とご協力をお願いいたします。末筆ながら、皆様のご多幸とご活躍を心から祈念いたします。

困難を乗り越えて

秋涼の候、悠和会の皆さんには健やかにご活躍のことと申します。

今年もまた、福岡県をはじめとする各地で豪雨災害が発生するなど、不順な天候の夏でした。被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、深い青空に清涼な風が吹き渡る秋たけなわをむかえて、すべての人々に豊熟の喜びが訪れることをお祈りする次第です。

さて、皆さんの母校長崎国際大学は今年、開学以来最も多い新入生を迎えることができ、現在約2300名の学生が在籍しています。十八歳人口の減少、地域経済の減退、長引く不況感など大学を取り巻く現状は厳しいものがありますが、学生諸君の奮闘と教職員の努力、そして何よりも悠和会の皆さんをはじめとする大学のステークホルダーの方々のご理解・ご支援によって、本学は順調な発展を遂げているところです。「私立大学等改革総合支援事業」にはタイプ1から4までありますが、一昨年・昨年と本学は九州の全私立大学の中で唯一、二年連続して、すべてのタイプで採択されました。今年もまたタイプ1から4のすべてと新設されたタイプ5に申請すべく、準備を進めているところです。

人も大学も同様ですが、何かこれはという自分なりに自信のあるものを一つ掴んで、それをさらに進化発展させることで向上できるのではないのでしょうか。作家の吉川英治

は名作『宮本武蔵』の中で、主人公の青年武蔵が修業の決意を固める場面を次のように描いています。「孤剣！ たのむはただこの一腰。武蔵は手をやった。『これに生きよう！これを魂と見て、常に磨き、どこまで自分を人間として高めようかやってみよう！ 沢庵は禅で行っている。自分は、剣を道とし、彼の上に乗って超えねばならぬ』と、そう思った。青春、二十一、遅くはない」。まことに鮮やかに青年の気概と大志を描いているように思われます。

恐らく悠和会の皆さん方も学生の頃、自分の進路や人生の目標を巡る悩みの中で、武蔵と同じように思われることもあったのではないかと思いますし、恐らくは今もそれぞれの仕事や状況の中で、それを追求しておられることでしょう。そして現在、本学で学んでいる学生諸君も「これに生きよう！」の何かを求めて、日々勉強や課外活動に取り組んでいるところです。長崎国際大学そのものも、「どこまで高めようか」というチャレンジを続けていきます。

悠和会の皆様のご健康と益々のご活躍を、懐かしきキャンパスから祈っております。そして、長崎国際大学の歩みに温かなまなざしを向けて下さいますよう、宜しくお祈りいたします。



長崎国際大学 副学長
木村 勝彦

学生の自らの学びをサポートするラーニング・コモンズの整備

本学では「学生を育てる大学」から「学生が自ら育つ大学」へと転換するための様々な取り組みを開始しています。

「学生が自ら育つ大学」という目標にとって、授業外でも学生が自由に使用でき、学び合うことができる空間は非常に重要であり、リラックスした雰囲気の中で、互いに教え合ったり、グループワークの課題に取り組んだり、プレゼンテーションの練習をしたり意見交換をするなど、ラーニングコモンズの活用による教育効果は多岐にわたります。



▲図書館(2F)に整備したラーニング・コモンズ

このような活動がラーニング・コモンズで行われることで、授業外学習時間の増加による「単位の実質化」や、いわゆる「学士力」や「社会人基礎力」の向上に資することが可能となります。「学生が自ら育つ大学」を目指すため、ラーニング・コモンズの充実・活用は必要不可欠なものです。

そのために、食堂棟(2F)、図書館棟(2F)、HR101室(5号館1F)の3ヶ所にラーニング・コモンズを整備し、学生の主体・能動的な学びを促進するものとします。



▲食堂棟(2F)に整備したラーニング・コモンズ

同窓会総会のご案内

同窓会総会を右記の日程の通り開催致します。卒業生同窓会会員の皆様、お誘い合わせの上ご参加下さい。この日は、大学祭も行われておりますので、是非楽しんで行っていただければと思います。

日時：平成29年11月4日(土) 14時～
場所：3303教室

同窓会 沖縄支部

長崎国際大学 同窓会 沖縄支部では、去る9/10(日)に北谷町 サンセットビーチにて第4回 BBQ大会を行いました。

在学生11名、卒業生18名、教職員3名の総勢32名でした。

在学生は夏休みを利用しての参加で、卒業生と交流し卒業後の進路が少しは想像することができたのではないのでしょうか。

特に健康栄養学科の在学生・卒業生の参加が多く、管理栄養士の資格の活かし方を考えるきっかけになれば嬉しく思います。

卒業生、役員を含めて、日頃仕事で疲れているかとは思いますが、当日はリフレッシュして参加し、楽しく懐かしい時間を過ごせたかと思えます。

参加いただいた教職員のみなさんにも久しぶりに会えたことで、嬉しそうにしている様子がとても印象的でした。

毎年遠方から卒業生に会いに来てくださる教職員の皆様に、改めて感謝申し上げます。

長崎国際大学同窓会 沖縄支部会長 照屋 雄一



硬式野球部

1部リーグ躍進!!

2015年春に創部した硬式野球部は3年目を迎え、135名の部員を抱える本学最大の部となりました。今年度は九州地区大学野球連盟北部ブロックの1部リーグに昇格し、躍進を続けています。春季リーグ戦では6勝4敗の3位の成績を収め、秋季リーグ戦では5勝5敗の4位でしたが、常勝チームの日本文理大学に勝利するなど、確実に力をつけてきています。

今年度は新たに元プロ野球選手のコーチを2名招聘し、顧問、部長兼監督、副部長、総監督、コーチ4名の8名による指導体制のもと、全国大会出場およびプロ野球選手輩出を目指して、日々努力を重ねています。同窓会会員の皆様には、今後のさらなる発展にご期待いただくとともに、温かいご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



屋内練習場ができました!!

今年10月に床面積30m×40mの屋内練習場ができました。雨の日も練習ができるようになり、さらなる強化を図り、リーグの上位を狙っていきます!

平成29年度秋季リーグ戦結果

- 本学1-3別府大学
- 本学4-5別府大学
- 本学2-0大分大学
- 本学4-3大分大学
- 本学0-7近畿大学産業理工学部
- 本学2-0近畿大学産業理工学部
- 本学6-1日本文理大学
- 本学1-3日本文理大学
- 本学7-3西日本工業大学
- 本学1-3西日本工業大学



～平成29年度～

学生の主な活動成績

硬式テニス部 (男・女)

第37回九州学生室内テニス選手権大会

平成29年2月9日～16日

●女子ダブルス【準優勝】

九州学生新進テニストーナメント

平成29年3月8日～18日

●女子ダブルス【優勝】 ●女子シングルス【3位】

全日本テニス選手権大会長崎県大会

平成29年6月24日～25日

●女子シングルス【優勝】

ゴルフ部

全国大学対抗戦

平成29年6月13日～16日

●男子団体【9位】

九州学生ゴルフ連盟会長杯

平成29年9月13日～14日

●男子個人【優勝】

九州学生ゴルフシリーズ選手権

平成29年9月26日～27日

●男子個人【優勝】

硬式野球部

九州地区大学野球選手権北部九州ブロック大会 1部リーグ戦

平成29年4月15日～5月14日

●1部リーグ戦【3位】

空手道部 (男・女)

南部九州大学空手道選手権大会

平成29年5月20日

●男子個人形【3位2名】 ●女子個人形【優勝・準優勝】

●男子個人組手【準優勝】 ●女子個人組手【3位】

●男子団体組手【優勝】 ●女子団体組手【準優勝】

全九州学生空手道選手権

平成29年5月21日

●男子個人形【準優勝】 ●女子個人形【準優勝】

●女子個人組手【優勝・準優勝・3位】

西日本大学空手道選手権大会

平成29年5月28日

●男子団体組手【3位】 ●女子団体組手【5位】

全日本空手道連盟剛柔会九州・沖縄地区空手道選手権大会

平成29年6月18日

●男子個人組手【優勝】 ●男子個人形【優勝】

●女子個人組手【優勝】

第61回全日本学生空手道選手権大会

平成29年7月2日

●女子個人組手【3位】

アーチェリー部 (男・女)

第35回西日本大会選手権考会

平成29年4月8日～9日

●男子個人【優勝・準優勝・3位】

第41回九州学生アーチェリー王座決定戦

平成29年5月4日～5日

●男子団体【優勝】 ●女子団体【優勝】

第27回全日本学生アーチェリー西日本大会

平成29年5月20日～21日

●男子個人【4位】

第46回全日本フィールドアーチェリー選手権大会

平成29年6月2日～4日

●男子個人【3位】

第56回全日本学生アーチェリー男子王座決定戦

平成29年7月1日～2日

●団体【3位】

第52回全日本学生アーチェリー女子王座決定戦

平成29年7月1日～2日

●団体【優勝】

男女ソフトテニス部

全九州学生ソフトテニス春季リーグ戦大会

平成29年5月3日～4日

●女子団体【1部リーグ 6位】

全九州学生ソフトテニス春季選手権大会

平成29年5月5日～6日

●女子個人【ベスト16】

女子バレーボール部

第16回長崎県大学女子バレーボール大会

平成29年4月23日

●優勝

九州大学春季バレーボール女子1部リーグ

平成29年4月29日～30日

●4位

男子バレーボール部

九州大学春季バレーボール男子1部リーグ

平成29年5月25日～28日

●5位

九州地区大学体育大会

平成29年6月16日～18日

●3位

陸上競技部

第87回九州学生陸上競技対抗選手権大会

平成29年5月12日～14日

●男子個人100m【決勝1位】

同窓会の皆様、こんにちは！

第18回開国祭実行委員長の河野花乃子です。
少し涼しくなった風が、今年も開国祭の季節がやってきたことを感じさせます。先輩方が築き上げてこられた開国祭も、皆様のおかげで18回目を迎えることとなりました。

今年のテーマは「花笑みー咲きほこれlike the SUNー」です。開国祭に来てくださった皆様に花のような素敵な笑顔になってほしいという意味で花笑みという言葉を選びました。また、サブタイトルである「ー咲きほこれlike the SUNー」は私たち実行委員を始めとして、模擬店出店者やステージ企画に出場していただく方など、今回の開国祭を作っていく全ての人に、世界でたった一つ

の太陽のような誇り高い笑顔をこの開国祭で咲かせてほしいという願いを込めています。

今年の開催は11月4日(土)、11月5日(日)となっております。18回の伝統を基に創り上げた歴史ある開国祭を、長崎国際大学の活気あふれる姿を、是非、ご覧いただきたいと存じておりますので、ご家族・ご友人とご一緒に花いっぱいの開国祭へお越し頂ければ幸いに存じます。

最後になりますが、今後とも開国祭へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



開国祭実行委員長
河野 花乃子

長崎国際大学 第18回 開国祭
花笑み
hana-emi
ー咲き誇れ like the SUNー

2017.11.4(土)・5(日)
OPEN 9:00 CLOSE (4日/19:00 5日/19:30)

講演会
笑劇の国際交流術

スペシャルLIVE

パックンマックン
(演劇テーマ) 自分を動かす、人を動かす、世界を動かす
11.4(土) 開演 14:00 長崎国際大学 4101教室 (開演前13:30) 無料 (後援:長崎県立国際交流センター)

SHISHAMO スペシャルライブ
11.5(日) 開演 16:30 長崎国際大学 体育館 (開演前15:30) 2,800円(税込)

学術研究発表

- 第15回留学生日本語弁論大会
- ふくし食品コンテスト 東京社会福祉研修報告会
- ピリオリバトル
- 佐賀県の魅力を発見!!
- 第8回高校生外国語暗唱コンテスト
- NIUの学生たちが出会った三川内境
- 日本の美「いけばな」無料体験教室
- NIU典拠 長崎北部の歴史とキリスト教
- 第6回 Made in SASEBO フォトコンテスト
- 美術部作品展示
- 銀河鉄道2の夜を辿って
- 福祉の映画上映会
- マジックの館2017
- AED体験コーナー
- 茶会
- 書
- グローバルトークin開国祭

[お問合せ] 長崎国際大学開国祭 実行委員会 TEL&FAX 0956-39-3094 (月～金 19:00) 開国祭HP <http://www.niu.ac.jp/~kaikokusaif/>
長崎国際大学 〒859-3298 長崎県佐世市南バウスタンプビル2825-7 TEL0956-39-2020 FAX0956-39-3111 大塚HP <http://www.niu.ac.jp>

大学時代を過ごした長崎で働きませんか？

長崎県内5大学でCOC+事業「若者が輝く、若者で輝く長崎創生」を展開しています。

これは、「まち・ひと・しごと創生法」が2014年に制定されたのを受け文部科学省が「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」を発表したことから起こされた事業です。

長崎県もさまざまな対策を打ち出していますが、そのなかのひとつに長崎県内企業をネットで紹介する「Nなび」があります。長崎県外で就職されている方で長崎にUターンを考えている方や、長崎県外で働いている方でも販路拡大などの目的で活用できると思います。

是非ご確認いただき、活用していただければと思います。



お問い合わせ

長崎大学地方創生推進本部県北分室
COC+推進コーディネーター
安徳 勝憲 (前長崎国際大学国際観光学科教授)
antoku@nagasaki-u.ac.jp